

## はじめての日本と私の将来

チャン ティ ゴック  
ハノイ国家大学人文社会科学大学2年

私は、7月30日から8月12日の間、ベトナムからの短期交流学生として京都大学での多文化共学短期受入れ留学プログラム2017に参加しました。はじめて日本に来たので、非常に楽しみにしていました。

今回、京都大学から費用補助を受けることができ、とても嬉しく、感謝しております。しかし、嬉しいことはそれだけではありません。

クラス分けテストの結果は残念でしたが、そのことは日本語の授業に出てからは思い出さなくなりました。日本語の先生は優しく教えてくれ、クラスの雰囲気を良くしてくれました。分からないことも分かりやすく説明してくれました。

日本語の授業以外は、日本の文化の講義や科学講義を受けました。親切な先生方と英語と日本語をまじえて話し、とても嬉しかったです。色々な事を教えてもらい、日本の文化にたいする興味がさらにわきました。特に、日本の文学をとっても好きになりました。

プログラム中、感動したのは、日本語が上手ではない私たちに先生もサポーターたちもみんなは易しい日本語を使っていたことです。困っている時にも心配してくれたこともあり、とても嬉しかったです。

一方、新しい友達と会ったり、一緒に勉強したり、写真をたくさん撮ったりしました。日本人の皆さん、そしてほかの国の皆さんといい友達になれました。また会える人もいれば一期一会の人もいましたが、どの国からでも連絡し合おうと約束しました。奈良で文化財見学に行き、日本の東大寺と古い町並を見学して、日本の歴史について知りました。さらに、共同発表のために、皆が一緒に協力し、とても嬉しく思いました。色々忘れられない思い出になっています。

日本に来てからは、よく友達と話し、自分が思っていることを伝えられるようになりました。このプログラムが終わった今、さらに勉強して、日本に留学できるように頑張りたいと思います。

京都サマープログラムに参加でき、日本語・日本文化について学べたのは本当に良かったと思います。京都大学とハノイ国家大学人文社会科学大学の先生方に感謝しています。このプログラムで学んだことは今後も活かしたいと思います。